

アクション2022

ライモンのコラボ活動（地域をフカボリ）

☆ 玉名工業高校向け課題研究授業 in 玉名（担い手育成）

高校生を指導している浅野が東北から九州地方へ

地方インフラ維持管理の担い手候補である

工業高校の生徒に対して高校の授業の中で実践教育

九州・沖縄
×
東北・北海道



アクション2022

ライモンのコラボ活動（関係をフカボリ）

☆インフラ維持管理担当者向け合同研修会 in 周南（若手育成）

自治体職員による橋梁DIYを実施している木下が中国地方へ
山口県内の市町担当者向けにDIY補修の実践研修
研修を通じた担当レベルのネットワーク構築

中国・四国
×
九州・沖縄

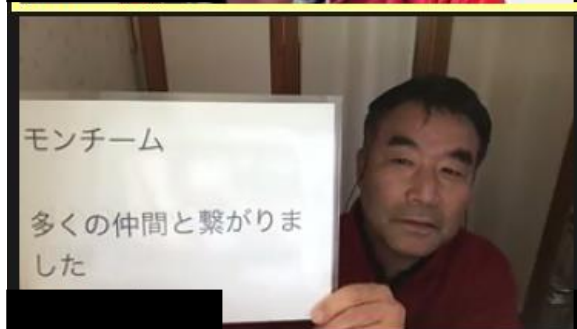


それぞれの強みを生かして、つながり、高めあう！

アクション2022

モンの朝活オンラインサロン (仲間をフカボリ)

2022年5月から 毎月第4土曜日 8:30~



自治体職員を支えたい、応援したい、市民協働を広めたいサポーター同士の繋がり



☆日経コンストラクション2022.8 特集

自治体ネットワークの構築

苦悩・孤立しがちな職員をつなぐ

自治体が直面する維持管理の問題に思いをめぐらすのは、最前線で働く職員たちだ。全国で苦悩する自治体職員をつなぐ、市民協働の取り組みも広がる組織が立ち上がった。設立メンバーの5人は、これまで各自に先進的な事業の維持管理に取り組んできた経験を持つ。

インフラのメンテナンスに取組んでくれる人たちが個人でつながり、悩みや先進事例を共有する組織が立ち上がった。土木学会インフラメンテナンス協会委員アカデミーの部会に設けた「地方インフラ・メンテナンスネットワーク（LIMN）」だ。設立メンバーは、自治体職員を中心にする。それぞれ、以前から独自に先進的な事業の維持管理に取り組

んでいた。各地に散らばってブロック単位で活動するとともに、有志を全国に広げるネットワークの構築を目指す（資料1）。LIMNの活動は、各メンバーのこれまでの取り組みに合わせて2つのチームに分かれる。チーム「ライ」は孤立しがちな自治体職員をつなぐ。チーム「モン」では自治体協働の取り組みを広げる（資料2）。

2022年3月に土木学会で「保守・メンテナンス2022」と題するパネルディスカッションを開催し、本誌の活動のきっかけとなった。自治体職員を中心とする。それぞれ、以前から独自に先進的な事業の維持管理に取り組んでいた。各地に散らばってブロック単位で活動するとともに、有志を全国に広げるネットワークの構築を目指す（資料1）。LIMNの活動は、各メンバーのこれまでの取り組みに合わせて2つのチームに分かれる。チーム「ライ」は孤立しがちな自治体職員をつなぐ。チーム「モン」では自治体協働の取り組みを広げる（資料2）。

資料1 先進的取り組みの維持管理に取組んでくれたメンバーが主体

緑野 賢直 (福岡県) 福岡県道路公社 道路課 課長補佐
今井 賢太 (山口県) ICA TBS
水下 達樹 (東京都) 東京都建設局 橋梁課 課長補佐
長岡 功 (東京都) 東京都建設局 橋梁課 課長補佐
渡野 邦吉 (アイエヌエス) アイエヌエス 日本支社 橋梁課 課長補佐
長岡 功 (アイエヌエス) アイエヌエス 日本支社 橋梁課 課長補佐

☆中建日報 2022.10.27 (1面)

特稿 ▶ 自治体メンテナンスの発展

を押し進めたのだ。しかし、自治体で仕事を上げたい自治体職員が、全ての自治体に同じメンテナンスが実施されているわけではないという。自治体職員が孤立しがちな現状を認識し、自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。

資料2 Zoomでつながる自治体職員

「チーム「ライ」の活動は、自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。」

資料3 Zoomでつながる自治体職員

「チーム「ライ」の活動は、自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。」

資料4 LIMNのウェブサイト

「LIMNのウェブサイトは、自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。自治体職員をつなぐ取り組みを推進する。」

インフラ維持管理合同研修会 ライモンが周南市で開催

資料5 研修会の様子

資料6 研修会の様子

資料7 研修会の様子

☆朝日新聞 2022.11.18 (25面)

朝日新聞デジタル11.22

インフラ担当 自治体超え連携

問題解決へ先進事例や悩み共有

山口・熊本の職員ら設立「LIMN」

